



発行人・こども大学かわごえ「ミニこえど新聞」編集部
発行所・川越市霞ヶ関北 3-12-6 霞ヶ関北自治会館内 Tel.080-2053-2991 URL・http://www.cuk.or.jp



開会式でテープカットする「ミニかわごえ」子ども市長の小侯諒介くん(中央)・実行委員長の遠藤克弥学長(左)・副会長の糸原恒久蓮馨寺住職ら=連雀町の蓮馨寺参道で(飯田ありさ記者撮影)

「ミニかわごえ」しくりました

子ども大学かわごえ学園祭

蓮馨寺 境内 会社や銀行・お菓子のお店も

子どもたちが会社・まちをつくり、働き、給料をもらって納税するなど、社会を疑似体験することで「生き方」を学ぼうという催し「こども大学かわごえ学園祭・ミニかわごえ」が3月13・14の両日、蓮馨寺境内で開かれました。

子どもたちが会社・まちをつくり、働き、給料をもらって納税するなど、社会を疑似体験することで「生き方」を学ぼうという催し「こども大学かわごえ学園祭・ミニかわごえ」が3月13・14の両日、蓮馨寺境内で開かれました。

テープカットと、共に始まったミニ川越。受付でとてもいい笑顔だった中村さんは、「手紙を見て、とてもおもしろそうだからです」と話していました。

今のところ、手芸がとても人気だそうです。皆さんもぜひ、行くといいでしょう！

これから二日間、よろしくお願いたします。(泉小4年・塚本花穂記者)

「値段の決め方は？」

平成22年3月13日土曜日午前、蓮馨寺でミニ川越が始まりました。

みんな楽しそうに、働いています。その中でも私は、食べ物屋さん、インタビューしました。

出ているお店は、こんにゃく、わたあめ、焼きそば、ポックーン、フランクフルト、フライドポテト、カレーライス、アメリカンドック、チョコバナナがあります。

スタッフの、ツカモトさんに、聞きました、「どうやって、値段を、決めているんですか。」「材料費と、手間、



会場内には、子どもたちがお店を出したポップコーンやフランクフルト、フライドポテトやカレーライスなど、おいしそうなのがいっぱい(澤田琴乃記者撮影)

楽しいネイルアートも

3月13日、れんげい寺でミニかわごえのがくえんさいがありました。

がくえんさいにはおみせがたくさんでていました。たべものや、ネイルアートやなどがあったのしそうでした。

わたしは、ネイルをしてみました。とてもかわいいです。みなさんもやってみてください。(山田小4年・飯田ありさ記者)

新聞づくりを体験して 知事・市長インタビューにドキドキ

大変だったけど、面白かった…

ミニこえど新聞の学園祭「ミニかわごえ」臨時特集号は、こども大学かわごえのジュニアスタッフ6人が中心になり、3月13日(土)・14日(日)に連雀町の蓮馨寺境内の会場で新聞社の職業体験を希望した子どもたちが、一緒に取材・執筆・編集に参加して作りしました。当日の参加者の指導にもあたりました。

ジュニア記者たちは、会場を訪れた上田清司知事や川合善明市長への直撃インタビューも挑戦。知事・市長とも、快く質問に答えてくれました。2日間の体験を通じて分かったこと・感想などを座談会にまとめました。

いろいろな人と会話でき
仲良くなれて良かった



澤田琴乃さん

新人さんが入ってきたときには教えなければいけないので、不安だったけど、いろいろ教え合ったりしてううちに友達みたいになった。いろいろな人にインタビューするのと、いろいろな人と会話できたり仲良くなったりで、新聞記者の仕事は好き。来年も、ぜひまたやりたい。

最初は簡単かと思った
本番では緊張しました



高鳥萌さん

「短い文章をつなげれば良い」と言われて、最初はもっとなんか簡単なものだと思ってたけど、本番では緊張しちゃったし、皆ちゃんと読んでくれるか心配だった。パソコンの操作は大変だったけど、書き終わったときは、ものすごくうれしかった。またやりたいです。

本物の記者みたいで
とっても面白かった



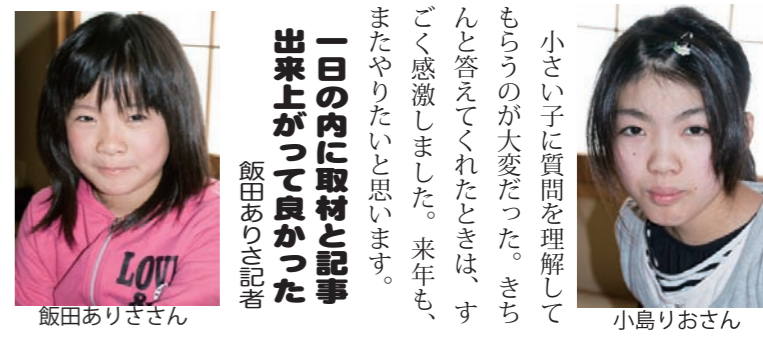
塚本花穂さん

本格的に新聞記者になったみたいになってきて、とっても面白かった。初めのうちは、取材する相手の人がちゃんと対応してくれるか不安だった。またやりたいです。

小さい子への取材
質問が難しかった

小島りお記者

- ### 新聞づくりに参加しました(敬称略・順不同)
- 澤田琴乃(山田小5年)JS ・ 久保輝恵(川越小6年)
 - 塚本花穂(泉小4年)JS ・ 岡地剛史(大東西小6年)
 - 高鳥萌(川越西小4年)JS ・ 小川奈々子(川越第一小6年)
 - 小島りお(川越東小4年)JS ・ 富岡あい(川越第一小6年)
 - 飯田ありさ(山田小4年)JS ・ 井上里穂(川越第一小6年)
 - 浅野瑤子(杉下小4年)JS ・ 友部太一(川越西小5年)
 - 内山りゅう一(川越小3年) ・ 友部翔(川越西小1年)
 - 五十嵐功一(川越第一小1年) ・ 小林友太(大東西小3年)
 - 天野梨穂(月越小6年) ・ 小林奈々美(あさひ幼稚園)
 - 安井一起(高階中1年)ほか (JSはジュニアスタッフ)



飯田ありささん

小さい子に質問を理解してもらおうが大変だった。きちんと答えてくれたときは、すごく感激しました。来年も、またやりたいと思います。

一日の内に取材と記事
出来上がって良かった

飯田ありさ記者

新聞記者は文章をまとめるのが仕事で、私は苦手なので不安だった。ワープロで打つてみたら、うまくできた。一日のうちに、取材と記事が全部出来上がってうれしかったです。またやりたいです。

知らないことが
たくさん聞けた

浅野瑤子記者

話がかみ合わなかったり、忙しそうにしていると声が掛けづらかったり、取材が大変だった。新聞記者のように、知らないことをたくさん聞けたことが良かった。知事や市長に聞いたことを記事にまと



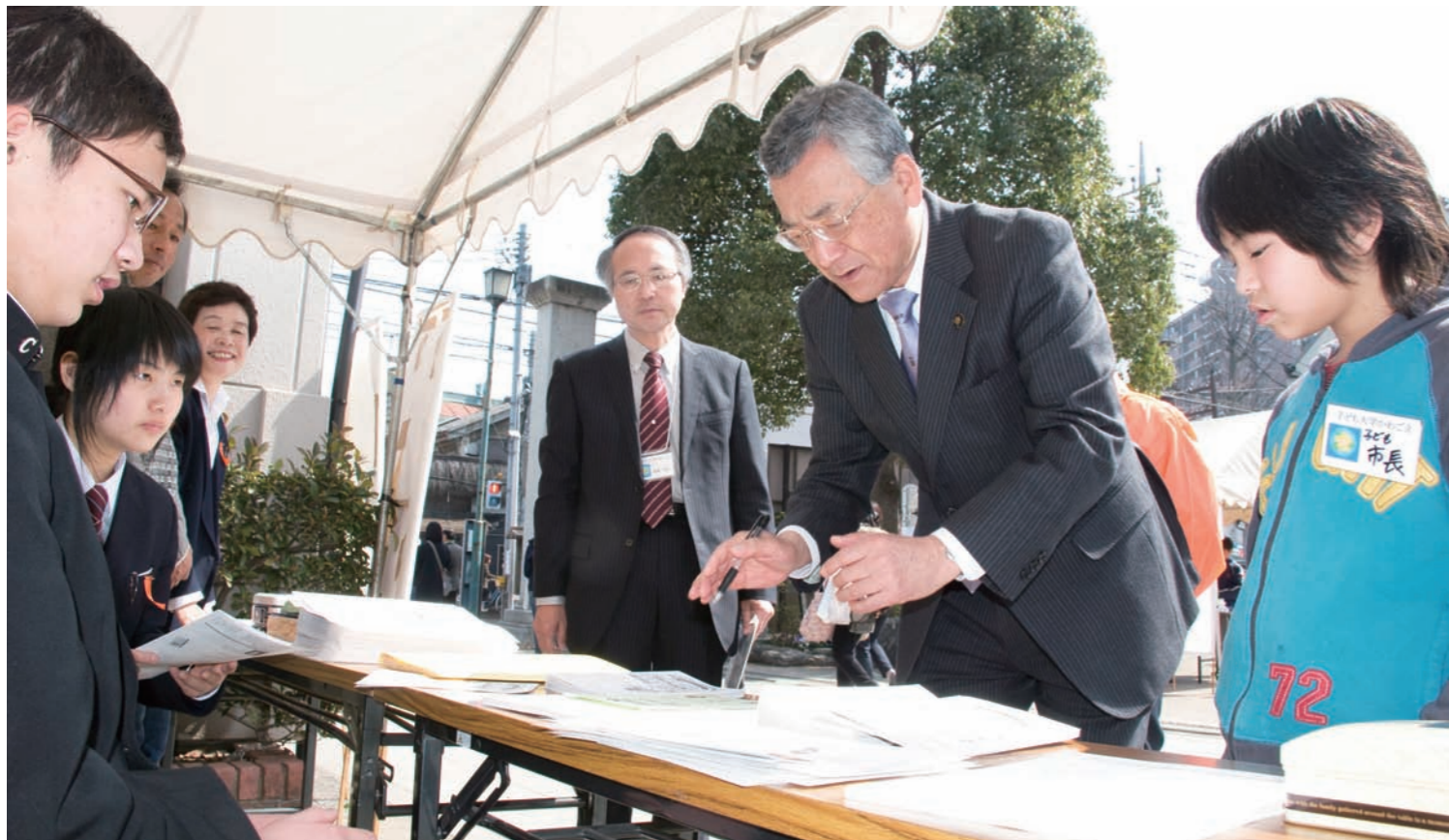
「ミニこえど新聞」は私たちジュニアスタッフが中心になってつくりました

編集後記

今回、取材にあたっては基本的な説明以外には誰に・何を・どうやって聞くかなど、自由にやらしてもらいました。原稿も見出し・リードを除き、それぞれの思いに任せて手を加えていません。内容の打ち合わせから取材・写真撮影・パソコンを使った原稿書きまで、各々が自分のやり方とペースで頑張っていました。自分より小さい子に指導する姿も、頼もしい限りでした。(アドバイザーより)

めるのが大変だった。またやりたいです。

本物の市長もミニかわごえに市民登録



「ミニかわごえ」の小侯諒介市長(右)の案内で、会場入り口で市民登録をする川合善明川越市長(右から2人目)。左隣は実行委員長の遠藤克弥学長＝連雀町の蓮馨寺境内で(編集部撮影)

市長「好きなのはスイカ」

実は、3月13日(土)、埼玉県知事さんと川越市長さんが来てくれました！
私がした県知事にした質問は「埼玉県のじまんは、何ですか？」
答えは、おじさんたちのパトロールが、とても充実している日本一。ということなんです。
ちなみに、知事さんの好きな食べ物、コロケです！
(市長さんにした質問は、「これからどんなまちにしていきたいですか?」です。
答えは、「県民の住みやすいまちにしたいです。」
市長さんは、なんと、休みの日はボーっとしているか、ねているかのどちらかだそうですね。ちょっと意外！
県知事さん、市長さん、こ

市長「好きなのはスイカ」

川越市の市長の川合市長が来ました！
川越市を住みやすい市にしたい…。それが川合市長の願いです。
川合市長は、基本的に食べ物の好き嫌いはないそうです。あえて言えば好きな食べ物はスイカ。(これは特に好



優しい口調で子ども記者の質問に答える川合善明市長

きな物だそうです。私も好きです。夏はこれでしょう!!
嫌いな食べ物(好きでもないし、嫌いでもない物)はカボチャだそうです。
市長をやってまだ1年1ヶ月。なのにすごく働きぶり…。子供の時は、宇宙飛行士になりたかったそうです。
川越市の人口は、34万45人!(2010年3月1日現在)

在)なんと34万人を超えています。すごい…。
休日は月1回。休日は、ボーっとしているか、寝てるかだそうです。(普段の忙しさがわかります…)川合市長! まだまだこれからもがんばってください。期待しています。(杉下小4年・浅野瑠子記者)

知事さん・市長さんに聞きました

「お休みは月に1日ぐらい」

子どもたちの夢は「先生」「宇宙飛行士」



「ミニこえど新聞」の記者のインタビューに気さくに答える上田清司知事(県NPO活動推進課撮影)

学園祭初日の13日、昼後に上田清司知事と川合善明市長が相次いで会場を訪れ、子どもたちがつづいた店や会社・まちのようすを見学しました。
ミニこえど新聞の記者は、ふだん直接接する機会が少ない2人に、それぞれ聞きたいと思うことを質問しました。上田知事からは、高校2年生のときに政治家になりたいと思ったこと、埼玉県は市民パトロールが日本一であることなどを聞きました。川合市長からは、子どもたちの夢は宇宙飛行士だったこと、川越市の人口が3月1日に34万人を超えたことなどを聞きました。2人とも、休みは月に1日ぐらいしかないことなどを聞いて驚きました。

知事「読書が大好き」

この学園祭に上田知事が来てくれました。知事は、埼玉

県民全員が、幸せになつてもうために働いています。知事は高校2年生の時、国会議員になろうと思ったそうです。
小さい頃の夢は、先生だったそうです。
埼玉県の自慢できるところは、防犯パトロールの人数だそうです。約5000人で、ダントツ日本一だそうです。2位は、東京都で、約2300人。埼玉県は日本でも人口5位なのに、1位の東京よりも防犯パトロールが多いと聞いて、埼玉県は、安心して住める県だと思います。
好きな食べ物、コロケだそうです。
休日は、月に1日ぐらい。読書が大好きで、良く本を読むそうです。
上田知事は、埼玉のことを考えてくれる信頼できる知事だと思いました。(杉下小4年・浅野瑠子記者)

知事「コロケが大好き」

3月13日午前、ミニ川越に埼玉県知事が来ました。さっそくインタビューしました。
「知事は、どんな仕事をしているんですか。」と聞



休みは月に1日だけ?(浅野瑠子記者撮影)「読書」と、答えて、くれました。ついでに、休日は、月に一度だそうです。(川越西小4年・高島萌記者)

「好きな食べ物。」と聞く
「埼玉県は、自慢は。」聞く
「パトロールを、している人が、日本一のところ。」と、答えてくれました。
「趣味は、何ですか。」と、聞く
「読書。」と、答えて、くれました。
「埼玉県は、自慢は。」聞く
「パトロールを、している人が、日本一のところ。」と、答えてくれました。
「趣味は、何ですか。」と、聞く
「読書。」と、答えて、くれました。
「埼玉県は、自慢は。」聞く
「パトロールを、している人が、日本一のところ。」と、答えてくれました。
「趣味は、何ですか。」と、聞く
「読書。」と、答えて、くれました。

腕に腕章を巻いて知事に質問する子ども記者たち(編集部撮影)